

第 5 安全・安心で快適に暮らすまち

1 快適な生活環境の整備

- 基本施策29 まちなかの活性化 …………… 126
- 基本施策30 居住環境の充実 …………… 128
- 基本施策31 上水道の整備・健全な維持管理 …………… 130
- 基本施策32 下水道の整備・健全な維持管理 …………… 132

2 利便性の高い交通環境の整備

- 基本施策33 道路の整備 …………… 134
- 基本施策34 公共交通の充実 …………… 136

3 安全・安心な市民生活の確保

- 基本施策35 消防・救急体制の充実 …………… 138
- 基本施策36 防災体制の充実 …………… 140
- 基本施策37 河川・海岸の保全と河川の環境整備 … 142
- 基本施策38 交通安全の推進 …………… 144
- 基本施策39 防犯対策の推進 …………… 146
- 基本施策40 消費生活の安定 …………… 148

基本施策 29 まちなかの活性化

現況と課題

郊外大型店舗の進出等を背景とした中心市街地の商業の衰退は、居住人口の減少や魅力低下へとつながり、更なる駅前・商店街の空洞化にもつながることが懸念されます。将来にわたり「持続可能なまちづくり」を目指して、中心市街地に魅力ある都市機能を誘導する必要があり、苫小牧都市再生コンセプトプランの促進要因である「ウォーカブルなまちづくり」の視点において、中心市街地のまちづくりを進めていかなければなりません。

駅前の再整備については、中心市街地エリアのコンセプトに基づき、旧サンプラザビルとその周辺にある駅前広場や旧バスターミナルとの一体的な整備を進めることが必要です。

基本目標

「苫小牧都市再生コンセプトプラン」において目標に掲げる交流人口*の増加に向け、次世代のまちづくりの観点から、苫小牧駅周辺ビジョンにおけるエリアコンセプトに基づき、駅前の再整備とウォーカブルの方向性をハード・ソフト両面から具現化し、都市の拠点となる中心市街地エリアの活性化を目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧都市再生コンセプトプラン
- ・ 苫小牧駅周辺ビジョン
- ・ 苫小牧市都市計画マスタープラン
- ・ 苫小牧市立地適正化計画
- ・ 苫小牧市地域公共交通計画

主な取組

1 苫小牧駅周辺ビジョンの推進 【総合政策部】

- (1) 苫小牧駅周辺ビジョンに示す都市機能の導入を促進するとともに、駅前再整備に向けた具体的な取組を進めます。また、様々な組織による多様な活動や新たな実証事業を連携するプラットフォームの組成を検討し、にぎわいの創出や集客力向上の相乗効果を図ります。

2 にぎわいの創出 【総合政策部】

- (1) 中心市街地エリア・施設を活用するとともに、市内に点在する魅力資源との連動により、市内への来訪を促進させる事業を展開します。

3 公共交通等サービスの利便性向上 【総合政策部】

- (1) 中心市街地エリアにおける交通サービスの課題を整理し、実証事業の効果や先進事例の成果等も踏まえながら、交通サービス整備の方向性や導入、整備機能を検討します。



主な事業

【総合政策部】

- ・都市再生コンセプトプラン推進事業
- ・都市再生コンテンツ創出事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
苫小牧駅周辺における平日の歩行者通行量 (人/日)	7,788	9,000
苫小牧駅周辺における休日の歩行者通行量 (人/日)	8,193	9,000
「駅前や駅通りを活気あふれる地区にすること」への市民満足度* (%)	31.3	50.0



基本施策 30 居住環境の充実

現況と課題

公営住宅については、8割以上が昭和60年(1985年)までに建設され、老朽化が進んでいます。少子高齢化や人口減少の進行、財政状況等を鑑み、管理戸数の適正化を図りながら、建替えやストックの長寿命化を進めなければいけません。また、民間住宅については、ストック活用型社会への転換が求められており、長く住み続けられる住宅の実現に向け、リフォームの支援を推進する必要があります。

空き家については、管理不全により防災、衛生、景観等、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている事例がみられ、その対策が喫緊の課題となっています。空き家数や管理状態の把握を行い、啓発活動による空き家の管理不全化の予防や安全対策など、空家等対策計画に基づく対策を推進していくことが重要です。

本市では、計画的に公園・緑地の整備を進めてきた結果、令和3年度末における開設都市公園は324か所、面積が1,071haとなっており、市民1人当りの面積が約63㎡で他の都市と比較高い水準にあります。今後は、ユニバーサルデザイン^{*}や防災機能に配慮した施設整備が求められているほか、老朽化した公園施設の長寿命化のため、計画的な改築・更新を図るとともに、公園の再編や統廃合を考慮した適正配置を進める必要があります。

基本目標

公営住宅については管理戸数の適正化を図りながら、適切な整備・改善に努めます。民間住宅については、住宅の耐震化、省エネルギー化、バリアフリー化を始めとする各種リフォームの推進により、住み慣れた住宅に安全で快適に住み続けられる住宅の実現を目指します。管理不全状態にある空き家等の所有者に対して適正管理を促し、地域環境の保全を図るとともに、空き家化の予防や解消に努めます。

公園・緑地を核として、市街地に近接する海・山・丘陵地の自然と、河川空間や道路空間を活用した緑のネットワークの適正な維持管理に努めます。また、潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、高齢者や障がい者を始め、誰もが安全・安心に利用できる公園・緑地の整備を進めます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市営住宅整備計画
- ・ 苫小牧市営住宅等長寿命化計画
- ・ 苫小牧市住生活基本計画
- ・ 苫小牧市公園施設長寿命化計画
- ・ 緑の基本計画
- ・ 苫小牧市樹木維持管理方針
- ・ 苫小牧市空家等対策計画
- ・ 苫小牧市バリアフリー基本構想
- ・ 苫小牧市スポーツ施設整備計画

主な取組

1 公営住宅の整備 【都市建設部】

- (1) 管理戸数の適正化を図りながら、老朽化した公営住宅の建替えに継続して取り組みます。
- (2) 周辺環境に配慮しつつ、既存ストックの長寿命化と安全性の向上を図ることで、住み続けられるまちづくりを目指します。

2 民間住宅支援 【都市建設部】

- (1) 市民の住宅リフォームを支援する住宅耐震・リフォーム支援事業を推進します。

3 空き家対策 【市民生活部】

- (1) 市内全域における空き家数や、周辺地域に与える危険性の有無などの実態把握を行い、今後の空き家の発生抑制や適正管理に関する周知・啓発、空き家の売買等による活用など、空家等対策計画に基づく対策を推進していきます。

4 公園・緑地の整備 【都市建設部、総合政策部】

- (1) 潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出するため、市民の憩いやコミュニティ活動などの場として、地域ニーズや利用形態に配慮するとともに、ユニバーサルデザインや防災機能を備え、高齢者や障がい者を始め、誰もが安全・安心に利用できる公園・緑地を整備します。
- (2) 老朽化した施設の計画的な改築・更新により長寿命化を図るとともに、機能を充実させることで誰もが利用しやすく親しみやすい都市空間として整備します。
- (3) 周辺環境の変化や利用状況に応じた公園・緑地整備を進めるとともに、公園の再編や統廃合の検討を進めます。
- (4) 緑ヶ丘公園は、四季を通して自然と触れ合い、スポーツやレクリエーションを楽しめる公園として、計画的に整備を進めます。

5 緑化の推進 【都市建設部】

- (1) 花と緑にあふれた色彩豊かな街並みを創出するため、市民や企業などと連携して花植えや植樹を推進します。
- (2) 緑化の取組に対する支援のため、町内会等による植樹イベントや花壇整備に対し、花苗・資材の現物支給や植樹帯への花の植付に対する助成などにより、緑化活動を推進します。
- (3) 街路・緑地帯の景観を改善するとともに、大木化した樹木の支障枝による交通障害や落葉清掃の軽減を図るためせん定を行うなど、適正な樹木の維持管理に努めます。

主な事業

【市民生活部】

- ・空家等対策推進事業

【都市建設部】

- ・住宅建設事業
- ・住宅改善事業
- ・住宅耐震・リフォーム支援事業
- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・緑の基本計画事業

評価指標

目標指標(項目)	基準年度	R9年度目標
市営住宅管理戸数 (戸)	6,913	5,960
「公園、緑地、広場、並木道など、身近に緑とふれあえること」への市民満足度 [※] (%)	82.2	85.0
空家等実態調査に基づく不良度ランクC、Dの空家等数 (件)	129	120



基本施策 31 上水道の整備・健全な維持管理

現況と課題

水道事業は、施設の老朽化や災害対策、人口減少に伴う料金収入の減少等の課題に対して、効率的かつ効果的な維持管理や更新を進めていく必要があります。

そのためには、長寿命化によるライフサイクルコストの低減や、水需要の減少を見据えたダウンサイジング等の施設規模の適正化によって、維持管理や更新等に必要な投資費用を縮減しながら、計画的な更新と適正な料金水準の検討により健全な財政状況を堅持し、効率的な事業運営を進めていく必要があります。

基本目標

「苫小牧市新水道ビジョン」の基本理念を念頭に、厳しい経営環境の中、水道事業を将来にわたり持続的かつ安定的に運営するため、水道施設の計画的、効果的な管理・更新及び継続的な経費削減に取り組みます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市新水道ビジョン実施計画
- ・ 苫小牧市水道事業・下水道事業経営戦略

主な取組

1 新水道ビジョンの推進 【上下水道部】

- (1) 基本理念である「いつでも・どこでも・おいしい水・未来へつなぐ苫小牧の水道」を実現するため、「水道サービスの持続」、「安全な水道」、「強靱な水道」の確保を基本施策として水道事業を推進するとともに、省エネルギー対策に取り組みます。

2 施設の老朽化対策 【上下水道部】

- (1) 老朽化の進行に対し、適正な資産管理により、選択と集中の観点から優先順位づけを行い、将来の水需要を考慮した施設規模の適正化を進めることで、効率的かつ計画的な対策を行います。

3 災害対策 【上下水道部】

- (1) 水道施設の耐震化を進めるとともに、豪雨による水質への影響や、津波浸水への対策を進めます。
- (2) 被災時の応急給水体制の充実を図ります。

4 事業の健全経営 【上下水道部】

(1) 経営戦略における収支推計を、新水道ビジョンの更新計画に反映させることで、計画的な施設の更新と健全な財政状況の両立を図ります。

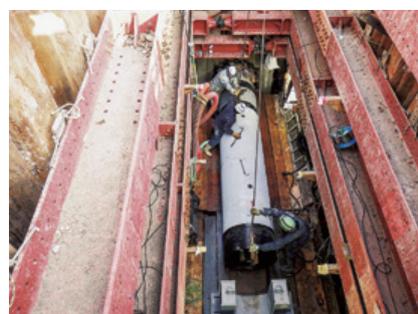
主な事業

【上下水道部】

- ・新設事業
- ・改良事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
新水道ビジョン進捗率 (%)	32.2	100
老朽管更新の進捗率 (%)	90.9	100
浄水場施設の耐震化率 (%)	84.2	92.1
重要水道管の耐震化率 (%)	60.2	63.9



基本施策 32 下水道の整備・健全な維持管理

現況と課題

下水道は、衛生的で快適な市民生活を支え、大雨の浸水被害から市街地を守る重要な役割を担っています。一方で、人口減少等に伴う厳しい経営環境や老朽化施設の増大など、下水道が抱える課題は増加しています。

本市では、昭和27年(1952年)に整備を開始し、現在では市街地全域に普及していますが、将来にわたり下水道機能を確保していくため、下水道施設の老朽化対策を進めるとともに、全国各地で発生している集中豪雨や大規模地震に備えるため、大雨対策や耐震化対策を実施する必要があります。

基本目標

安全・安心で快適な市民生活に欠かすことができない下水道機能を、将来にわたり確保するため、投資財政計画である経営戦略と整合を図りながら、計画的かつ効率的に下水道施設の改築更新を実施します。

また、全国各地で自然災害が発生している状況から、引き続き雨水管整備などの大雨対策に取り組むとともに、下水道施設の耐震化対策を進めます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市公共下水道事業計画
- ・ 苫小牧市下水道ストックマネジメント計画
- ・ 苫小牧市水道事業・下水道事業経営戦略

主な取組

1 施設の老朽化対策 【上下水道部】

- (1) スtockマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に下水道施設の点検調査及び改築更新を実施することで、予防保全に努めながら、事業費の平準化やライフサイクルコストの削減を図ります。

2 災害対策 【上下水道部】

- (1) 集中豪雨による浸水被害を軽減するため、10年確率降雨に対応する雨水管整備を始め、効果的な大雨対策を実施します。
- (2) 地震時における下水道が有すべき機能の優先度を考慮しながら、段階的に下水道施設の耐震化対策を進めていきます。

3 事業の健全経営 【上下水道部】

- (1) 経営戦略における収支推計を、ストックマネジメント計画に反映させることで、計画的な施設の更新と健全な財政状況の両立を図ります。
- (2) 下水汚泥・し尿処理の広域連携による施設共同運用化の検討を進め、施設更新費用の削減を目指します。

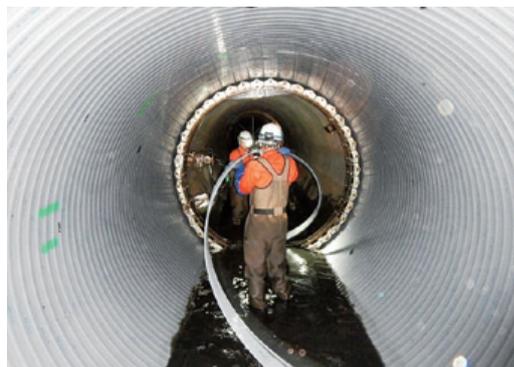
主な事業

【上下水道部】

- ・ 管渠築造事業
- ・ ポンプ場築造事業
- ・ 下水処理場築造事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
老朽管の改築・更新延長 (km)	21.9	45.9
雨水面積整備率 (%)	75.1	75.9
下水道管の耐震化延長 (km)	246	272





基本施策 33 道路の整備

現況と課題

道路は、人や車両を安全・円滑・快適に通行させる交通機能と緑化や景観形成等の空間機能を有し、これまで市政発展や市民生活の向上に大きく寄与してきました。

主要幹線道路は、広域的な交流や物流の活性化などの社会・経済活動を支えるほか、医療搬送や災害時の救援物資を運ぶ「命をつなぐ道」として重要な役割を担っています。

円滑で利便性の高い道路交通網が形成されることで、より効率的な移動や渋滞緩和が図られ、二酸化炭素排出量の抑制によるゼロカーボン社会への貢献も期待されることから、広域的な道路整備の促進が一層重要になっています。

また、幹線道路・生活道路は、利便性が高い道路交通網の形成や安全で快適な都市生活の実現に加え、新たな利用ニーズに対応した道路整備が求められています。

さらに、急速に老朽化が進む道路や橋梁等を計画的に改築・修繕していく必要があります。

基本目標

快適で潤いのある都市生活と、活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、社会情勢の変化や新たなニーズに配慮しながら促進します。

また、老朽化が進む道路・橋梁等の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通機能の保全に努めます。

関連する個別計画

- ・社会資本総合整備計画(北海道)
- ・道路特定事業計画(北海道開発局・北海道・苫小牧市)
- ・苫小牧市橋梁長寿命化修繕計画
- ・苫小牧市都市計画マスタープラン

主な取組

1 主要幹線道路の整備 【都市建設部、総合政策部】

- (1) 国道234号、276号の整備促進を要望していきます。
- (2) 国道及び道道の安全性向上に資する整備促進を要望していきます。
- (3) 苫小牧～浦河間の高規格道路の早期実現を要望していきます。
- (4) 都市計画道路3・1・2美沢錦岡通、3・2・16臨海東通、3・1・504苫小牧厚真通、(仮称)苫小牧登別通の道道昇格整備を要望していきます。

2 幹線道路・生活道路の整備 【都市建設部】

- (1) 利便性の高い道路交通網の形成やバリアフリー化など新たな利用ニーズに対応した道路整備を進めます。

3 道路・橋梁等の改築・修繕 【都市建設部】

(1) 急速に老朽化する道路や橋梁等を健全な状態に保ち、安全で円滑な交通機能を確保するため、効率的・計画的に改築・修繕を進めます。

主な事業

【総合政策部】

・期成会要望

【都市建設部】

・道路改築、修繕事業 ・橋梁長寿命化事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
道路舗装率(舗装延長/市道延長) (%)	86.6	87.5
修繕橋梁数 (橋)	16	34
道路修繕延長 (km)	170	208



基本施策 34 公共交通の充実

現況と課題

高いマイカー利用率や将来人口の減少、少子化などにより、民間事業者が運行する公共交通の利用者数は長期的に減少しており、さらには、運転手不足など、公共交通を取り巻く状況は厳しく、民間事業者のみでは維持存続が困難な状況です。

そのため、本市では「苫小牧市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の維持存続に向けて、事業者や沿線自治体などと連携し、利用促進と利便性向上に取り組んでいます。

公共交通は、通学やマイカーを利用できない方の移動手段として、引き続き重要な役割を果たしていくことから、事業者と連携し、利便性のみではなく効率性にも考慮しながら、「将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成」に取り組むことが必要です。

基本目標

日常生活に必要な交通手段を確保するため、利用者ニーズを踏まえ、「利便性と効率性のバランス」の取れた「将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成」を目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市地域公共交通計画
- ・ 苫小牧市樽前地区地域振興計画
- ・ 苫小牧市植苗・美沢地区土地利用計画

主な取組

1 市内公共交通の充実 【総合政策部】

- (1) 公共交通事業者や沿線自治体などと連携し、鉄道、路線バスを始めとする公共交通の利用促進及び利便性の向上を図ります。
- (2) 市内の公共施設や商業施設と連携した利用者への情報提供など、利用しやすい環境づくりやバス待ち環境改善のため、バスロケーションシステムの利用拡大を図り、乗継ポイントとなる交通結節点の整備を促進します。

2 市内公共交通ネットワークの構築 【総合政策部】

- (1) 将来人口の減少や少子高齢化社会に向けてバス路線の再編を行い、利便性と効率性のバランスを取りながら持続性の高い公共交通ネットワークの構築を推進します。
- (2) ICTを活用した新たなモビリティサービスの推進に向けて、とまこまい版MaaS*実証事業を実施し、利便性が高く、質の高い交通サービスを提供します。

主な事業

【総合政策部】

- ・ 公共交通路線維持費補助事業
- ・ 樽前予約運行型バス運行事業
- ・ 植苗・美沢地区コミュニティバス運行事業
- ・ 公共交通利用促進事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
樽前予約運行型バス利用者満足度 (%)	88.0	90.0
植苗・美沢地区コミュニティバス運行利用者満足度 (%)	89.0 (R2)	90.0
各生活拠点におけるバス待合整備か所数 (か所)	—	4



基本施策 35 消防・救急体制の充実

現況と課題

人口減少の進行により、人的・財政的な資源に限られる一方で、大規模火災、大規模地震、豪雨災害等の複雑化・多様化する災害に適切に対応しなければなりません。

様々な災害に対応できる持続可能な消防体制を構築するため、将来を見据えた消防施設の適正な配置を考慮し、老朽化が進んでいる施設、車両、装備等を計画的に整備・確立していく必要があります。

また、消防職員及び消防団員の効率的な運用や職務能力の向上により総合的な組織力の強化が必要となります。

基本目標

消防・救急・予防業務体制の充実、強化を図るため、消防施設、消防指令システム、車両、装備等の消防力を整備するとともに、継続的に人材育成を行い組織力の向上を図り、「安全・安心なまち」を目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市地域防災計画

主な取組

1 消防施設、消防車両、資機材及び消防水利の整備 【消防本部】

- (1) 地域の消防体制を強化するため、消防水利や消防施設の充実を図ります。
- (2) 複雑多様化する火災や救急等に対する活動を強化するため、消防業務のICT[※]化を考慮するとともに、消防指令システム、消防救急デジタル無線、車両、資機材等の整備を図ります。
- (3) 施設更新費用の削減や市民サービス向上のため、東胆振1市4町における消防指令業務の共同運用に向けた取組を進めます。

2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上 【消防本部】

- (1) 複雑多様化する各種災害に対応するため、訓練、資格取得、教育体制の充実を図ります。また、多様化する社会の変化に対応した市民サービスの向上を図るため、女性消防職員の比率を向上させます。
- (2) 地域防災力の向上のため、消防団員確保に向けた取組を進めるとともに、消防団活動の充実強化を図ります。

3 企業・地域住民と連携した地域防災力の強化 【消防本部】

- (1) 地域防災力の向上のため、救急救命講習や訓練等の充実強化を図ります。
- (2) 市内各企業や一般住宅における火災危険を抑え、火災等発災時の被害の軽減を図るため、防火防災対策を推進します。

主な事業

【消防本部】

- ・ 消防施設・装備等整備事業
- ・ 消防車両等整備事業
- ・ 高機能消防指令センター保守・整備事業
- ・ 緊急消防援助隊合同訓練事業
- ・ 救急救命士等研修訓練事業
- ・ 消防団活性化事業
- ・ 地域防災力向上事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「消防、救急体制が強化されること」への市民満足度* (%)	80.9	上昇
消防職員に占める女性消防職員 (%)	3.0	5.0 (R8)

消防職員に占める女性消防職員の目標値、目標時期は、総務省消防庁における目標時期、目標値に基づきます。



基本施策 36 防災体制の充実

現況と課題

本市では、災害から住民の生命や財産を保護するため、災害対応力を強化し市民一人ひとりの防災に対する意識を向上する必要があります。

特に、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震を踏まえた取組や感染症に対応した避難所運営など、各種計画やマニュアルの見直しを進めてきました。

近年では、全国各地で気候変動による大規模な風水害が発生していることや、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対する新たな津波浸水想定及び被害想定が示されるなど、災害に対する市民の関心は高まっている中で、最新の知見に対応した計画をスピーディーに見直すことや、市民の多様なニーズへの対応など、「高度な防災対応能力の強化」という新たな視点での取組が求められています。

このため、各計画・マニュアル等を見直しを進めるとともに、防災・減災に係る啓発の強化のほか、防災関係機関と強固な連携を構築しながら「自助・公助・共助」の更なる浸透に向けて、市民・企業市民が一体となった取組を進めることが必要です。

基本目標

防災の最大の目標は、災害から住民の生命や財産を保護することです。そのために多様化する災害に対応することを目的として、防災関係機関や市関係部局、さらには、自主防災組織などの住民組織と連携した総合的な防災体制の確立を図ります。

地震による被害の軽減を図り、市民の方々の安全で安心な生活を確保するため、市内の住宅及び建築物の耐震化を計画的に促進することを目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市地域防災計画
- ・ 苫小牧市国民保護計画
- ・ 苫小牧市災害時備蓄計画
- ・ 樽前山火山避難計画
- ・ 苫小牧市強靱化計画
- ・ 苫小牧市津波避難計画
- ・ 苫小牧市業務継続計画
- ・ 苫小牧市水防計画
- ・ 苫小牧市耐震改修促進計画

主な取組

1 防災体制の充実・整備 【市民生活部】

- (1) 国や北海道の動向を踏まえて、「苫小牧市地域防災計画」などの各種計画の見直しを進めます。
- (2) 「苫小牧市地域防災計画」に基づき、災害種別や地域性を考慮した防災訓練を実施します。
- (3) 自主防災組織を育成するとともに、一人暮らしの高齢者や障がい者などに対する避難行動要支援者支援対策を推進します。
- (4) 防災関係機関相互の情報の共有化と、地域住民への防災情報の提供及び防災に関する出前講座を実施します。
- (5) 津波ハザードマップを活用した防災知識の普及・啓発や、苫小牧市津波避難計画の改訂、新たな津波避難先の選定作業を進めるとともに、職員の初動体制の整備を進めるなど、津波対策を実施します。
- (6) 市内全域に設置した防災行政無線屋外スピーカーや戸別受信機、登録制の防災メール、各種SNSなどを活用し、迅速で確実な情報伝達を行います。
- (7) 防災備蓄品の整備及び民間事業者等との災害時応援協定の締結を推進します。
- (8) 「苫小牧市国民保護計画」に基づく避難計画を作成します。
- (9) 大規模な災害により都市が被災した場合、市民生活の早期安定を図る必要があることから、平時から国や北海道、防災関係機関と連携し、早期復興のための対策を進めます。

2 災害の未然防止 【総合政策部、市民生活部、都市建設部】

- (1) 防災関係機関と連携して、石油コンビナートなどへの立入検査を行います。
- (2) 「苫小牧市耐震改修促進計画」に基づいて、住宅及び建築物の耐震化を進めます。

主な事業

【市民生活部、都市建設部】

- ・ 自主防災組織育成事業
- ・ 避難行動要支援者支援事業
- ・ 防災備蓄品整備事業
- ・ 災害対策事業
- ・ 総合防災訓練事業
- ・ 木造住宅耐震改修等補助金交付事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「噴火、地震、風水害などの災害に備えること」への市民満足度* (%)	62.2	65.0
避難行動要支援者協定締結町内会数 (件)	47	52
民間事業者との災害時応援協定締結数 (件)	69	80

基本施策 37 河川・海岸の保全と河川の環境整備**現況と課題**

近年、多発する大雨により、道路冠水や浸水被害が発生しているほか、河川施設の老朽化が進行しているため、更新やしゅんせつなどによる流下能力の確保が求められます。また、老朽化の状況や地域要望などを踏まえ、環境と自然との調和がとれた川づくりが求められます。

さらに、高潮・波浪などによる侵食や浸水被害を防止するため、海岸保全対策が求められています。

将来にわたり河川・海岸の治水機能やそれらの環境を維持していくため、老朽化への対策や施設の整備・保全を計画的に行っていく必要があります。

基本目標

河川や排水路における流下能力の確保と、環境と自然との調和がとれた水辺空間の保全を図り、良好な河川の形成を目指します。

高潮・波浪、洪水による侵食や浸水被害の軽減を図るため、海岸や河川の事業促進について関係機関との連携を図ります。

関連する個別計画

- ・河川等維持管理実施計画

主な取組**1 河川・海岸の保全 【都市建設部】**

- (1) 二級河川や胆振海岸の整備促進を要望していきます。
- (2) 市が管理する河川・排水路の老朽化対策やしゅんせつにより、流下能力を確保します。

2 河川の環境整備 【都市建設部】

- (1) 地域の特性をいかした水辺空間の創出と保全を図ります。





主な事業

- 【都市建設部】
- ・河川整備事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
河川や排水路などの機能保全した河川数(本)	9	11
河川環境を整備した河川数 (本)	2	4



基本施策 38 交通安全の推進

現況と課題

本市における交通事故発生状況は、発生件数、負傷者数ともに減少傾向にありますが、高齢者が関係する交通事故は増加傾向にあることから、超高齢社会^{*}であることを踏まえた総合的な対策が重要な課題となっています。

また、交通ルールの遵守や正しい交通マナーの向上についても、幼児から高齢者まで成長段階に応じた交通安全教育により、市民意識を高めていくことが必要とされています。

一方、車両の安全性の確保や技術の進歩は目覚ましく、様々な先進安全技術の開発・実用化が急速に進んでいます。

交通事故のほとんどが運転者の交通ルール違反や運転操作ミスに起因している状況において、こうした技術の活用・普及促進により、交通事故の減少を図ることが必要です。

基本目標

「交通事故のない安全で安心なまち とまごまい」の実現を目指し、総合的な交通安全対策を推進するとともに、効果的な道路交通環境の整備や、地域に根差した交通安全教育の充実を図ります。また、広報活動の推進や交通安全施設の整備促進に努め、市民の安全の確保を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市交通安全計画

主な取組

1 交通安全教育の推進 【市民生活部】

- (1) 時代の変化に合わせた交通安全思想の普及徹底に向け、幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や自転車指導教室を開催し、交通安全ルール・マナー向上を目的とした教育を充実させます。
- (2) 参加・体験型などの実践的な教育方法により、関係機関や団体、地域社会及び家庭が連携をとりながら、地域ぐるみの活動として推進します。また、近年の多発する高齢者の交通事故防止に向けた、交通安全教育を推進します。

2 交通安全に関する普及啓発活動の推進 【市民生活部】

- (1) 市民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの厳守と正しいマナーの実践を習慣付けるとともに、関係機関・団体が連携して、市民運動として組織的、継続的に交通安全の取組を実施します。
- (2) 近年、先進技術を備えた車両の活用・普及促進を図り、運転者による交通事故違反や運転操作ミスを未然に防止し、交通事故防止を図ります。

3 道路交通環境の整備促進 【市民生活部】

- (1) 人優先の安全・安心な歩行空間を整備し、歩行者や自転車が安全に通行できる環境の確保・整備に努めます。
- (2) 高齢者、障がい者等の安全に資する歩行空間の整備や通学路における交通安全施設整備を推進します。

主な事業

【市民生活部】

- ・ 交通指導員事業
- ・ 苫小牧市交通安全推進委員会補助金
- ・ 違法駐車等防止事業
- ・ 交通安全施設整備事業

評価指標

目標指標（項目）	基準年	R9年目標
交通事故発生件数 (件)	406	355



基本施策 39 防犯対策の推進

現況と課題

本市における年間の犯罪認知件数は、近年減少傾向にあります。小中学生に対する声かけ事例や、自転車盗難、車上狙いなど身近に不安を感じる犯罪は後を絶ちません。

犯罪を防止するためには、「地域の安全は地域で守る」という考えのもと、地域と行政が一体となって地域の安全確保に向けた取組を進めていく必要があります。

更なる犯罪予防対策の取組や防犯体制の充実に向けて、令和2年度に策定した「苫小牧市総合防犯計画」に基づき、行政、市民及び事業者の役割を明確化し、連携・協働して防犯対策に取り組むことが必要です。

基本目標

市民一人ひとりの防犯意識の啓発及び地域ぐるみの防犯活動を推進し、地域と行政の協力体制の維持・向上により、市民が安全で安心して生活することができるまちづくりを進めていきます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市総合防犯計画
- ・ 苫小牧市防犯カメラ設置5カ年実施計画

主な取組

1 犯罪予防対策の強化 【市民生活部】

- (1) 夜間の歩行者等の安全・安心の確保や犯罪防止を目的に、生活道路の環境整備を図ります。
- (2) 犯罪の発生は、防犯意識を持った地域の目が行き届くことによって抑制できることから、自主防犯団体等の活動を支援するとともに、地域防犯活動の裾野拡大に努めます。また、関係部局、関係機関と連携を図り再犯防止対策を推進することで、犯罪のない安全で安心な地域社会をつくりまします。
- (3) 子どもたちが安全で安心して通学や屋外活動を行えるよう、子どもに対する事案の発生状況に配慮して、公園や通学路等への防犯カメラの設置に取り組まします。
- (4) 暴力のない安全で住みやすいまちづくりを進めるため、防犯協会や関係機関と連携し、暴力追放運動を推進します。

2 防犯体制の充実 【市民生活部】

- (1) 地域住民の更なる安全・安心の確保に向け、地域と連携を図りながら交番の増設等を関係機関に要請します。

主な事業

【市民生活部】

- ・ 街路灯設置補助金
- ・ 街路灯整備事業
- ・ 苫小牧市防犯協会補助金外
- ・ 防犯対策事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年	R 9 年 目 標
犯罪認知件数 (件)	732	637



基本施策 40 消費生活の安定

現況と課題

近年、高齢化・単身化の進行や成年年齢引き下げなどによる消費者の多様化が進んでいます。また、デジタル化の進展や感染症の拡大など、社会情勢の変化を要因とする新たな消費者トラブルも発生しています。

さらに、持続可能で多様性と包摂性のある社会への関心の高まりとともに、消費者の適切な行動を促すための取組も不可欠となっています。

本市では、平成30(2018年)年度に「苫小牧市消費者教育推進計画」を策定し、ライフステージや学校・職域などの場に応じた体系的な消費者教育を推進していますが、市民の安全・安心な消費生活を実現するため、消費者保護対策の継続とともに、消費者意識向上の取組の強化を図る必要があります。

卸売市場を取り巻く環境は、少子高齢化時代を迎え、生活様式の変化や流通の多様化などから今後は取扱高の低迷が予想され、施設についても老朽化、狭あい化も進んでいます。

苫小牧市公設地方卸売市場「経営展望」「経営戦略」に基づく市場機能の強化、計画的な施設の維持、整備の実施が必要です。

基本目標

安全・安心な消費生活を実現するため、消費者意識の向上及び消費者保護対策の強化を図ります。また、生活必需品等の価格動向を注視し、適正価格販売など価格安定対策につなげていきます。

卸売市場が今後も生鮮食料品等流通の役割を担い、市民等から信頼される市場を目指し策定した「経営展望」、「経営戦略」を推進します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市消費者教育推進計画
- ・ 苫小牧市公設地方卸売市場経営展望
- ・ 苫小牧市公設地方卸売市場経営戦略

主な取組

1 消費者意識の向上 【市民生活部】

- (1) 苫小牧市消費者教育推進計画に基づいた体系的な教育を推進するとともに、暮らしに役立つ知識・情報の幅広い提供機会を設けるなど、市民に消費者教育の浸透を図り、根付かせるための取組を強化します。
- (2) 生活用品交換市事業の内容見直しや事業の在り方の検討を進めるとともに、消費者意識の向上につながる消費者団体の活動を支援します。
- (3) 省資源、省エネルギーの啓発に努めるとともに、リサイクルの促進を図ります。

2 消費者保護 【市民生活部】

- (1) 研修等により消費者センター相談員の対応能力の向上を図り、市民が安心して相談できる相談体制を維持するとともに、相談者が利用しやすい窓口の環境づくりを進めます。
- (2) 悪質商法や特殊詐欺などの被害防止のため、消費者被害防止ネットワーク構成団体の情報共有や連携強化など、活動の活発化や体制の強化を図ります。
- (3) 不正計量や不当表示など、消費者の不利益を防止するため、店舗や事業所等への定期検査・立入検査を実施し、適正計量等の指導に努めます。

3 生活必需品などの安定供給 【市民生活部、産業経済部】

- (1) 生活必需品などの価格動向調査を実施し、調査結果を提供するのみではなく、より多くの市民が調査事業について認識し、興味をもってもらえるよう、効果的な周知方法について検討します。
- (2) 生活必需品などの需給状況や価格動向を注視するとともに、市民の消費生活の適正化を図らなければならない事態が生じた際の関係機関への速やかな要請など、供給や価格の安定化に努めます。
- (3) 苫小牧市公設地方卸売市場「経営展望」、「経営戦略」について、市場を取り巻く環境の変化も踏まえ、見直しを行いながら推進します。

主な事業

【市民生活部】

- ・消費者行政推進交付金事業
- ・消費経済対策事業
- ・生活用品交換市事業
- ・苫小牧消費者協会補助金
- ・消費者センター事業
- ・計量器検査及び計量普及啓発事業

【産業経済部】

- ・水産棟整備事業
- ・青果棟整備事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
消費者教育関連講座等開催数 (回・人)	17・796	30・1300
水産物部取扱金額 (千円)	6,736,000	維持
青果部取扱金額 (千円)	3,084,000	維持

